

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期大石田町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

山形県北村山郡大石田町

### 3 地域再生計画の区域

山形県北村山郡大石田町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は1980年には10,685人と1万人を超えていたが、その後減少を続け、2025年には5,871人となっている。若年層の流出や少子化の影響が顕著であり、年少人口は1980年の2,127人から2025年には449人へと約8割減少している。

生産年齢人口は、1980年の7,148人から2025年には2,809人へと約6割減少している。老年人口構成比は2025年において44.5%に達し、生産年齢人口構成比の47.8%に迫る状況となっており、地域経済の担い手不足や社会保障制度への影響が懸念される状況にある。将来推計によると、本町の人口減少は避けられない状況にあるが、町の総力を結集して人口減少対策に取り組み、持続可能なまちづくりを推進する必要がある。自然増減への対策として、合計特殊出生率の向上のために、安心して出産できる医療環境の整備、子育て支援の充実を図る。社会増減への対策として、転出の抑制と転入の促進のために、雇用機会の創出や企業誘致などの経済環境の整備に加え、若者が住み続けたいと思える地域コミュニティの形成・強化を図る。

本町の地域経済循環は人口減少とともに縮小している一方で、銀山温泉への玄関口としての立地、そばの里大石田、尾花沢スイカに代表される食文化など活用可能な地域資源が数多く存在する。こうした資源を活用し、地域の実情に根差した新たな経済活動へと発展させることで、雇用や事業を創出し、持続的な地域経

済循環の実現を目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、大石田町まちひとしごと創生総合戦略で掲げている総合戦略の共通概念（コンセプト）「三本の樫」に準じながら、次の4つの事項を本計画における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標1 町の強み・資源を活用して経済の好循環を生み出す
- ・基本目標2 関係人口を重視し、町内への人の流れをつくる
- ・基本目標3 若い世代の希望をかなえ、人口流出を抑制する
- ・基本目標4 安心・安全で住民のウェルビーイングを高める

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町支援による新規企業数	9社	10社(5年間)	基本目標1
	新規就農者数	6人	10人(5年間)	
	町が支援した企業数	20社	25社	
	ふるさと納税寄附者数	25,768人	30,000人	
	町内企業の従業者数	1,985人	1,800人	
	町内の女性就業者数	898人	850人	
	6次産業化の取組事例数	1件	3件	
イ	移住支援制度を利用して移住した人	3人	15人(5年間)	基本目標2
	Uターンによる移住者	27人	150人 (5年間)	
	町ホームページのPV数	467,000回	500,000回	
	年間観光入込客数	50万人	55万人	
ウ	婚活イベントをきっかけとした婚姻数	0組	3組(5年間)	基本目標3

	公的結婚支援サービスへの登録者数	6人	10人(5年間)	
	不妊治療費補助制度利用件数	2件	3件	
	町が支援した地域活動に取り組むグループ数	20組	20組	
	総合型スポーツクラブの会員数	96人	120人	
	芸術文化活動の施設利用者数	46,000人	50,000人	
エ	広域連携に係るプロジェクト数	44件	45件	基本目標4
	公民館利用者数	15,083人	15,000人	
	NPO、ボランティア団体への支援件数	2件	5件	
	主要道路及び河川工事件数	17件	17件	
	雪を活用した取り組み件数	1件	3件	
	除雪ボランティアの登録者数	28人	30人	
	消防団員数	286人	260人	
	自主防災組織率	96.3%	100%	
	大学との連携事業数	4件	5件	
	行政手続きオンライン化件数	10件	20件	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

大石田町まちひとしごと創生推進事業

ア 町の強み・資源を活用して経済の好循環を生み出す事業

- イ 関係人口を重視し、町内への人の流れをつくる事業
- ウ 若い世代の希望をかなえ、人口流出を抑制する事業
- エ 安心・安全で住民のウェルビーイングを高める事業

## ② 事業の内容

### ア 町の強み・資源を活用して経済の好循環を生み出す事業

本町に暮らす人々の生活をより豊かにするために、本町が有する多様な資源を持続可能な形で活用し、地域経済循環の強化を図る事業

#### 【具体的な事業】

- ・空きキャパシティを活用した仕事づくりへの支援
- ・元気な農業を目指した支援事業
- ・ワーケーション、テレワークなどの働き方や環境整備
- ・地域振興公社への支援強化 等

### イ 関係人口を重視し、町内への人の流れをつくる事業

オンラインを活用した新たな関係人口の形態など、新技術を積極的に取り入れながら、関係人口のさらなる拡大を図り、本町への人の流れを創出する事業

#### 【具体的な事業】

- ・お試し移住環境の整備
- ・住宅取得等への支援制度による定住の促進
- ・観光客受け入れ「おもてなし」態勢の強化の継続
- ・外国人観光客（インバウンド）の受け入れ促進 等

### ウ 若い世代の希望をかなえ、人口流出を抑制する事業

出産・子育てにおける様々な障壁を軽減し、個人にとっても社会にとってもより良い状況となるよう施策を推進し、若い世代が住み続けたいと思える魅力あるまちづくりに資する事業

#### 【具体的な事業】

- ・子育て環境の充実と支援制度の拡充
- ・地域特性を活かした教育環境の充実
- ・生涯スポーツ、芸術文化環境の充実
- ・最上川を中心とした体験型事業の推進 等

## エ 安心・安全で住民のウェルビーイングを高める事業

人口減少下においても、安心・安全で健康に暮らせる、地域のつながりが強く豊かなまちづくりに資する事業

### 【具体的な事業】

- ・町の活性化に関する団体、NPO等への育成、支援
- ・次の時代に合った社会基盤の整備と地域間交流の拡大
- ・除雪経費の負担軽減に向けた助成制度の推進
- ・消防団及び自主防災組織等の体制強化 等

※なお、詳細は第3期大石田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

### ④ 寄附の金額の目安

1,500,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに大石田町公式ホームページ上で公開する。

### ⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

## 6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで